

令和元年度

第 1 回 柏市社会教育委員会議

会 議 資 料

令和元年 7 月 3 1 日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立柏第四小学校	校長	いわた くみ 岩田 久美
柏市立柏第二中学校	校長	すぎもと ひであき 杉本 秀彰
柏市子ども会育成連絡協議会	会長	かどい たかし 門井 隆志
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	副会長	さかまき まさる 坂巻 勝
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市PTA連絡協議会	会長	よしだ ともき 吉田 智紀
柏市ふるさと協議会連合会	会長	ねもと としはる 根本 利治
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ	会長	はむら たいが 羽村 太雅
柏市ストップ温暖化サポーター 元我孫子市社会教育指導員		むらた しずえ 村田 静枝
さわやかちば県民プラザ	所長	ないとう まさとし 内藤 正寿
柏市民生委員児童委員協議会		いとう かおる 伊藤 薫
開智国際大学	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
東京大学大学院	教授	まきの あつし 牧野 篤
文教大学	准教授	あおやま てっぺい 青山 鉄兵
市民公募		ほんだ のりこ 本多 紀子

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
教育委員会	教育長	かわしま ただし 河 篤 貞
生涯学習部	部 長	おぬき しょうぞう 小 貫 省 三
生涯学習課	課 長	たかむら あきら 高 村 光
	統括リーダー	ふなこし やすなり 船 越 泰 成
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡 邊 雅 恵
	主 査	すずき ゆうすけ 鈴 木 佑 介
	主 任	たかまる とみお 高 丸 富 雄
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌 拔 博 孝
		いしい れいこ 石 井 礼 子
ば ば ひでき 馬 場 秀 樹		
図書館	主 任	かわもと だいすけ 川 本 大 輔

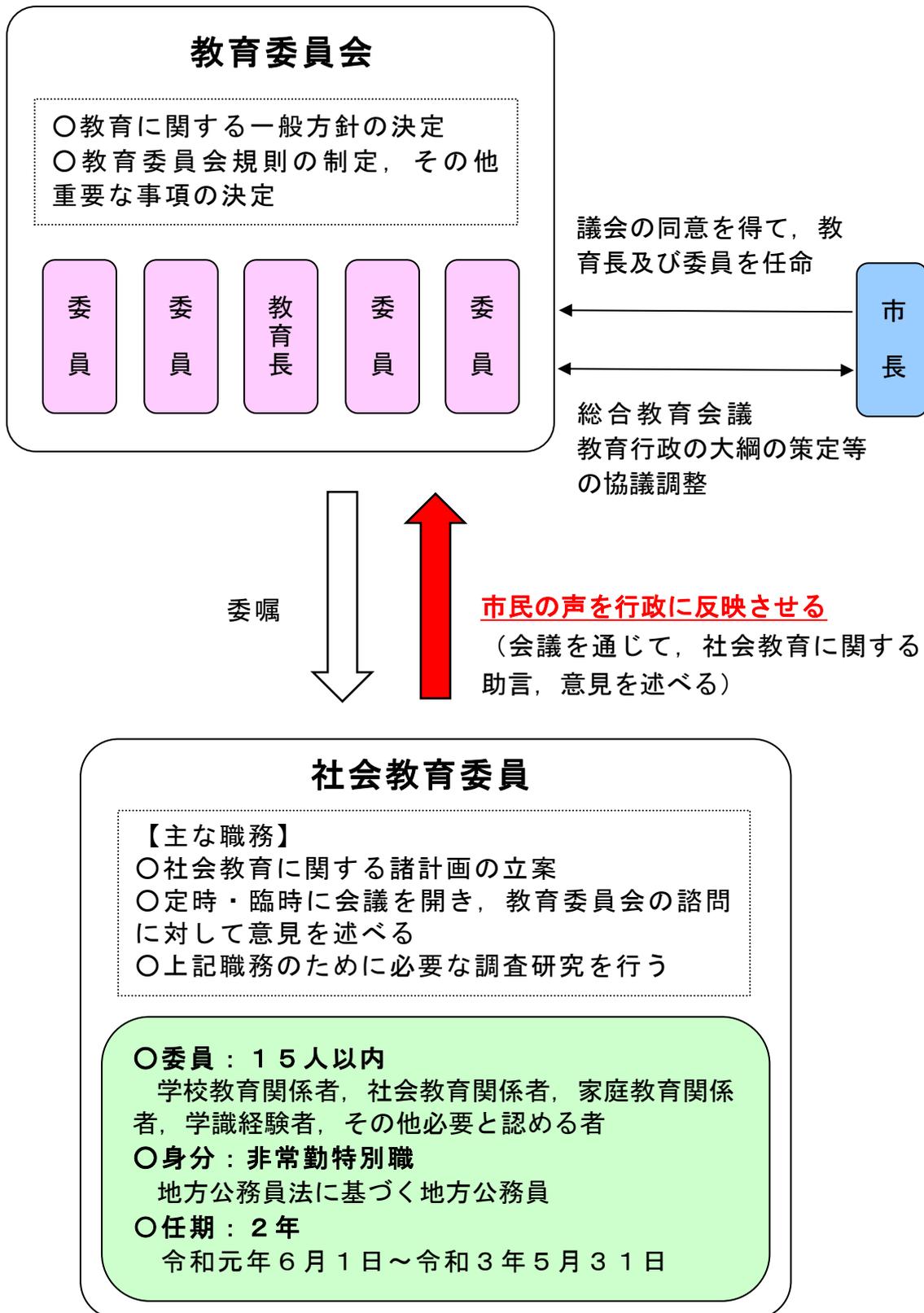
次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員及び事務局職員紹介
- 5 議長，副議長の選出
- 6 社会教育委員の概要説明
- 7 協議事項（グループワーク）
「今期の社会教育委員会議で取り上げるテーマについて」
- 8 報告事項
 - ・ 令和元年度生涯学習部各課・館主要事務事業概要について
 - ・ 柏市生涯学習推進計画策定について
- 9 閉会

目 次

1	社会教育委員について	1
2	他市町村における社会教育委員の答申・建議等について	3
3	柏市における過去の提言について	5
4	社会教育委員会議開催予定について	7
5	協議事項	8

1 社会教育委員について



1 名称

柏市社会教育委員

2 根拠法令

社会教育法・柏市社会教育委員条例・柏市社会教育委員会議規則

3 委員数

15人以内

4 委員任期

令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

1期2年（ただし，原則，再任は2回まで）

5 役割（社会教育法（昭和24年法律第207号）より抜粋）

（社会教育委員の設置）

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は，教育委員会が委嘱する。

（社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は，社会教育に関し教育委員会に助言するため，次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き，教育委員会の諮問に応じ，これに対して，意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は，教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は，当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について，社会教育関係団体，社会教育指導者その他関係者に対し，助言と指導を与えることができる。

他市町村における社会教育委員の

答申・建議等について

- ・ 社会教育委員
⇒ 社会教育に関する諸計画の立案，教育委員会に対する答申・建議等を行う。

- ・ 他市町村の答申・建議等について
⇒ 平成27年度は，9都道府県，6政令市，26市町村で答申等が行われた。答申・建議等の概要は，右のとおり。（社教連会報第79号）

- ・ 答申等の内容は，「子ども」，「家庭教育」，「学校・地域・家庭の連携」，「地域コミュニティ」や「生涯学習社会の構築」などに関するものが多い。

秋田県：大館市社会教育委員の会議 2016.3.23 「第6次大館市社会教育中期計画について」
栃木県：宇都宮市社会教育委員の会議 2015.10 「社会の要請」と求められる学習 那須塩原市社会教育委員 2015.4.23 平成25・26年度社会教育委員からの提言
神奈川県：藤沢市社会教育委員の会議(建議) 2016.6.27 次期生涯学習ふじさわプランにおける社会教育委員会議提言 横須賀市社会教育委員の会議(建議) 2016.3.31 「学びの成果を生かしていく仕組みづくり」を推進する上での現場ニーズや課題等の検討について 茅ヶ崎市社会教育委員の会議 2016.3.17 社会教育施設、社会教育関係団体等の活動の活発化に向けて～地域の教育力を高めるために～ 寒川町社会教育委員の会議 2016.2.17 「地域をつなぐ社会教育の在り方について」 二宮町社会教育委員の会議 2016.3.22 地域の人材ボランティアの活用～放課後子ども教室サポーター 山北町社会教育委員の会議(建議) 2016.2.9 「子どもたちの日常の過ごし方」について～地域全体での子育て支援策を柱とする社会教育の対応 南足柄市社会教育委員の会議(建議) 2016.2.25 南足柄市新生涯学習推進プランの一部改訂について 小田原市社会教育委員の会議 2016.7.21 「地域における遊び場のあり方について」
山梨県：甲州市社会教育委員の会議 2016.2.10 わだつみ平和文庫の利用について
長野県：岡谷市社会教育委員の会議(意見) 平成28.3.8 「社会教育行政のより一層の推進を図る」ため 諏訪市社会教育委員会議(提言) 平成28.3.15 「社会教育施設の整備について」「社会教育分野の事業について」 下諏訪町社会教育委員会(答申) 平成28.3.24 少子・高齢化社会が進行する中、未来の下諏訪を担う子どもたちの社会的・精神的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を身につけていくための手立てはどうあったらよいか 駒ヶ根市社会教育委員(答申) 平成27.10.1 駒ヶ根市生涯学習プランの見直しについて 松本市社会教育委員会議(提言) 平成27.7.30 子どもの健やかな育ちへの大人のかかわり～人とのつながり、コミュニケーションのできるまちづくりをめざして 中野市社会教育委員 平成27.4 心豊かな生涯学習社会をめざして～中野市社会教育委員～
滋賀県：甲賀市社会教育委員の会議(提言) 2016.3.29 地域コミュニティにおける社会教育(公民館の役割)～地域コミュニティの構築～ 湖南市社会教育委員会議 2016.3.31 基本的な生活習慣パンフレット作成の取り組み 愛荘町社会教育委員会議(提言) 2015.9.4 あいさつができるまちづくりの推進について
和歌山県：橋本市社会教育委員会議 平成27.11.24 「橋本市生涯学習推進計画に向けた提言書」 有田市社会教育委員会議(答申) 平成27.10.27 「有田市生涯学習推進計画策定について」
広島県：三次市社会教育委員会(提言) 平成27.12 「家庭の教育力の向上にむけて」
山口県：防府市社会教育委員の会議(中間報告) 2015.11.27 防府市における学校・家庭・地域の連携・協働についての具体的な方策について
沖縄県：浦添市社会教育委員の会議(提言) 平成28.3.30 シニア世代の活力を地域に生かす施策のあり方について

注1：補助金及び単年度の施策等に関する答申等、諮問中の案件については割愛
注2：元号、西暦の表記は報告書の表記に準拠

3

柏市における過去の提言について

①平成17年2月

地域と家庭における社会教育のあり方について

家庭の重要性を再認識し、家庭、学校、地域社会の連携・協力体制づくりについて提言

- 1 家庭の教育力向上への方策
- 2 学校支援体制づくり
- 3 子どもの居場所づくりとその必要性
- 4 地域にある既存の教育施設等の再評価と活性化
- 5 社会教育団体等との連携協力体制づくり
- 6 市民への広報活動と情報の提供

②平成19年2月

地域と学校の連携・融合による小学生の「安全・安心」な生活環境づくりについて

通学路での登下校時における安全確保の対策と小学生の居場所づくりへの対策について提言

- 1 登下校時における安全確保対策
学校、家庭、地域がより連携・融合して「安全・安心なまちづくり」を目指す
- 2 小学生の居場所づくり対策
「都市部」、「農村部」、「混住地区」の3地区に、各一か所の「居場所モデル地区」の設定を目指す

③平成23年2月

家庭教育振興方策について

家庭教育支援の取り組みを「家庭」「地域」「学校」「行政」「企業」の5つの視点から提言

- 1 家庭自ら取り組む家庭教育支援
- 2 地域社会全体が取り組む家庭教育支援
- 3 学校・PTAが取り組む家庭教育支援
- 4 行政が取り組む家庭教育支援
- 5 企業等が取り組む家庭教育支援

④平成29年2月

体験のススメ 失敗のススメ

近年の子どもたちの自己肯定感の低さを問題とし、体験活動の必要性と体験活動がどうあるべきかを4つの視点から提言

- 1 多種多様な体験を
- 2 真実の体験を
- 3 失敗を恐れずに
- 4 親も積極的にかかわりを

※別添「提言書」のとおり

⑤平成31年2月

地域と学校の連携について

地域と学校の連携に関する諮問に基づき、柏市らしい「地域と学校の連携・協働活動」の在り方について答申

- 1 方向性
子どもを地域の主役として考えるとともに、地域の人と人との関係性を築き、保ちながら、地域の活性化を図っていく
- 2 目標
 - (1) 地域に愛着を持つ子どもを育てる
 - (2) 教員の負担を極力増やさない
 - (3) 地域の間人関係を強める

※別添「答申書」のとおり

<提言を受けて>

・①～③の提言において、家庭の教育力の低下が指摘される中、平成22年度の「家庭教育振興方策について」の提言を受け、家庭教育支援事業である「みんなの子育て広場」を立ち上げました。平成23年度から事業を開始して、現在、柏市第五次総合計画重点事業として、全市立小学校（42校）で実施しています。

・平成28年度の提言書は、実際に体験活動を実施する青少年健全育成団体に配布し、好評をいただいています。

・平成28年度及び平成30年度に引き続き、今期の会議においても、地域で子どもを育てるという考え方のもと議論を重ね、地域と学校の協働事業や子どもを中心とした地域づくりにつなげていく予定です。

4

社会教育委員会議開催予定について

<令和元年度>

第1回
(7月31日)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出
- ・グループワーク（テーマ決め）
- ・令和元年度生涯学習部主要事務事業概要について報告



第2回
(11月)

- ・テーマに基づいたグループワーク（情報共有）
- ・地域と学校の連携について経過報告



第3回
(2月)

- ・講義（テーマについて知見を広める）
- ・グループワーク
- ・生涯学習推進計画策定状況報告
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告



<令和2年度>

第4回
(6月～7月)

- ・前年会議の振り返り
- ・グループワーク（方向性の検討）
- ・令和2年度生涯学習部主要事務事業概要について報告



第5回
(10月～11月)

- ・意見交換（提言案の検討）
- ・生涯学習推進計画案の説明
- ・計画案について意見交換



第6回
(1月～2月)

- ・提言
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告
- ・社会教育委員の振り返り

5 協議事項

1 グループワークの実施

今回の議題

今期の社会教育委員会議で取り上げるテーマについて

2 テーマについての補足

- ・ 「子ども」を中心とした内容
- ・ 地域での子どもに対する 問題や課題

※団体の方は、携わっている活動事例を踏まえていただくと、より実践的でイメージしやすい内容になります。

3 グループワークの方法

○ 2班（A班・B班）に分かれていただきます。

※別添名簿をご参照いただき、移動をお願いします。

○ 課題について話し合うとともに、内容を付箋に記入し、模造紙に貼り付けてください。

○ 30分で協議した後、話し合った内容の発表をお願いいたします。

※班ごとに発表者を決めてください。